

竜崎温泉温水プール指導日
(10月21日～11月20日)

実施日	
10月	21日(火)、22日(水)、23日(木)、24日(金)、28日(火)、29日(水)、30日(木)、31日(金)
11月	5日(水)、6日(木)、7日(金)、11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金)、18日(火)、19日(水)、20日(木)

※ 65歳以上の方の介護予防や健康づくりを目的とした水中運動の指導を行っています。

指導時間は午前10時～午後3時30分です。
実施日等は事情により変更することがあります。

◆問い合わせ

介護保険課 地域包括支援センター
☎0820(77)5530

ワンテーマディスカッションを
開催しています

町民の皆さんが積極的に町政運営に参画する仕組みとして、町長自らが町民の皆さんのところに出向き、自由な雰囲気の中でひざを交えて話し合いを行い、町民の「声」を聴く意見交換会「町長と意見交換会(ワンテーマディスカッション)」を実施しています。4月から9月までに開催された意見交換会は表のとおりです。



▲4月11日 浮島での意見交換会の様子

No	開催日	場所	テーマ
1	4月11日	浮島	町道等の維持管理について

◆問い合わせ

政策企画課 広報情報統計班
☎0820(74)1007

○周防大島認知症を支える会(ひだまりの会)
昭和62年に発足し、27年にわたり活動を続けられています。発足当時は、認知症についての情報や活用できる制度も少なく、家族が大変な思いで介護をしていた時代でした。そんな中、一人で悩まず同じ悩みを持つ者同士が助け合い、学び合って介護の負担を軽くしていく、また会員同士の交流が介護を続ける支えにな

る町を目指して
2004年に「痴呆」という呼び方が「認知症」に改まり、10年が経過しました。今では「認知症」という呼称は広く浸透し、認知症についての情報も多く発信されるようになりました。高齢化が進み、認知症の方が増加している昨今、認知症の予防や、介護しやすい環境づくりが重要になっています。
今回は、認知症になっても安心して暮らせる町をめざし、周防大島町内で行われている取り組みをご紹介します。

認知症になっても安心して暮らせる町を目指して



周防大島町保健師
佐原 聡子
(介護保険課 地域包括支援センター)

る、そんな心のよりどころのような会として、長年にわたり地域で活動を続けられています。町内4支部で定例会が開催され、地域の身近な相談窓口として重要な役割を担っていただいています。

○認知症サポーター養成講座

所定の研修を修了した町内のキャラバン・メイトが講師役となり、認知症の基礎知識について学ぶ講座です。シニアクラブやふれあいサロン、各種サークル等の地域団体や、職場、学校など、身近なところに伺い講座を開催しています。

講座を受講した人は「認知症サポーター」に認定されます。認知症サポーターは何か特別なことをするわけではなく、講座を通じて認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る支援者として、自分のできる範囲で助けをしようという全国的な取り組みです。

▼認知症を支える会、認知症サポーター養成講座に関する問い合わせ
介護保険課 地域包括支援センター
☎0820(77)5530